



全国保健センター連合会
日本宝くし協会

【新春座談会】

未来をつくる子どもたちを育む

庄内藩の城下町として繁栄してきた歴史や伝統・文化があり、日本海や庄内平野、広大な森林などの自然環境に恵まれている鶴岡。一方で、少子高齢化に伴う人口減少が急速に進み、その対策が大きな課題となっています。

どうすれば持続可能で希望がもたれる「子育て世代に選ばれるまち鶴岡」を実現できるのかを語っていただきます。

一同 明けましておめでとうございませう。

市長 私は三年前に東京から鶴岡にUターンしました。その理由は、故郷で働きたいという思いがあったことと、鶴岡の方が子育て環境が優れているのではないかと考えたからです。

東京は情報も多く、教育施設が充実している部分もあると思いますが、自然環境や地域の教育力を考えると、都会にはない鶴岡の良さがあるのではないのでしょうか。

みんなで話し合っただけで子育てしやすい環境を作っていくことは、若い人たちから鶴岡に住み続けてもらうことと併せ、人口減少に正面から向き合うための重要な対策と考えています。今日は遠慮せずにいろいろな意見を出していただきたいです。

豊かな自然環境の中で

神田 私が所属するつるおか森の保育

研究会は平成二十二年に発足しました。子供たちが幼少時から自然の中で過ごすことが大切だと考え、鶴岡らしい森の保育を目指し活動しています。構成メンバーは、保育園や児童館、子育てに関わっている方、学識関係者、環境教育団体などで、事務局を鶴岡市の子育て推進課に置いています。

鶴岡の魅力は自然が多様で豊かなことです。自然体験のフィールドとなるのは森だけでなく、海や川、田畑、近くの公園や神社など様々です。また、鶴岡は三方が山で囲まれて、山に抱かれています、守られているという印象が強く感じられる地域でもあります。

高橋 私が勤める大山保育園の周辺にはラムサール条約登録湿地の大山上池・下池、そして高館山があり、自然豊かです。こういう環境の中での保育を通して、子供たちはたくましい心と体を養っていると思います。

神田 鶴岡の保育園や幼稚園は、自然と触れ合う時間をとても大切にしていますよ。

前田 子供を生み育てて感じる鶴岡の魅力があります。それは、朝に天気がいいと思ったら、午前中に羽黒山に遊びに行つて、午後もつたいないから海に行つてというふうに、一日で山と海の両方を楽しめる自然の豊かさです。

また、子供の離乳食などに新鮮な野菜や、おいしい魚介類を使うことができるなど、安心して子供に食べさせることができるのも魅力だと思います。



佐藤 由久 さん

(株)アピリオのコンサルタント。昨年10月に鶴岡にUターン。2歳の子供の育児をしながらインターネット経由で東京のIT企業に勤務。

神田 リエ さん

つるおか森の保育研究会会長、元山大農学部助教。子育ては終わり、孫守りもあと少し。

皆川 治

鶴岡市長。中学生と高校生の子供を持つ子育て世代。アメリカや東京等で子育てを経験。

高橋 亨 さん

鶴岡市民間立保育園協議会会長、大山保育園長。30年以上、保育現場に携わる。2人の子供は市外で独立。

前田 ひとみ さん

子育てデビューサポート事業「先輩ママ」登録者。5歳の子供を育児中。保育士等の資格を生かし、子育て支援に携わる。

子育てに優しい地域社会へ

1 遊び場の充実

佐藤 鶴岡出身で、まちには魅力があると思っておりますが、外に出てから気付くことが多いです。特に、当たり前と思っていたことに魅力を感じるものが多くなりました。
皆さんのお話のとおり、自然が豊かなことも魅力の一つですが、鶴岡で子育てする魅力は何かと言われると、Uターンしたばかりで、まだよく分からないというのが素直な感想ですね。いろいろ教えていただきたいです。
市長 山、海、平野があり、自然が多様で、食材も多様です。鶴岡で生まれ育つとそれが当たり前で気付きませんが、すばらしい自然環境だと思っております。
鶴岡らしい森の保育という話もありましたが、この豊かな自然を生かした子育て環境の整備ができればなど感じました。

前田 子ども家庭支援センターが実施している子育てデビューサポート事業で、先輩ママとして、赤ちゃんが生まれたばかりの家庭に訪問して育児を手伝ったり、同じ子育て世代のお母さんたちが、悩んでいることを語り合ったりフレッシュする託児付きの座談会の司会をしたりするなど、子育て支援に携わっています。昨年「ノーバディ

ズ・パーフェクトプログラム」という親支援プログラムの進行役の資格を取って、今年度、第一回目のプログラムを実施しました。

育児中のお母さんたちと話す機会が多いのですが、冬場や雨のときなどの休日の遊び場が少ないという声をよく聞きます。多くの方が、山形市や東根市にある無料の遊戯施設に遊びに行っています。私自身も、市内に遊び場がたくさんあればいいなと思っています。
佐藤 雨天時に遊びに行ける所が少ないことは妻からよく聞きます。公園が近くにあります。雨降ると遊べず、児童館など、行く所がいつも同じになってしまう。雨が降る休みの日は、やっぱり遠くに行ってみようかと思いません。

市長 雨や雪の日に子供が思い切って遊べる場所が少ないという声は、私もいろいろな方から聞きます。市、あるいは市と民間が連携して対策を考えることが必要だと思っています。

前田 児童館や公園にある遊具が壊れたまま、何年も修理されないという話もよく聞きます。

市長 壊れた遊具が放置されているのは寂しいことです。しかし、人口が減っていく中で、全ての遊具を今までと同じように更新していくのは、財政的に難しい面もあります。具体的に、この場所には遊具は必要だとか、違う目的の場として活用していいとか、地域の皆さんと話し合いながら取り組む



子育てデビューサポート事業

問合せ 子ども家庭支援センター ☎25 - 2741

市では、新婚の方や出産・育児を予定している家庭などを対象に、初めての子育てを様々な形で支援しています。子育て中のママをサポートする取り組みを紹介します。

ママカフェ訪問

子育てサポーター基礎講習修了者や保育士資格を持つ先輩ママがご自宅に伺います。産後や子育て中のママとおしゃべりすることで、リフレッシュなどのお手伝いをします。

ノーバディズ・パーフェクトプログラム

0歳～未就学児を育てるママが集まり、子育ての悩み等を話し合うことで、自信を持って子育てができるように、ファシリテーター（進行役）がお手伝いする託児付きのプログラムです。



必要があると思います。

2 情報発信の重要性

神田 私たちの研究会では、これまで、地域の方にも協力いただきながら、ワークショップを年一回開催していましたが、今年度は季節ごとに四回企画しました。「ありのままの自然を楽しむ」をテーマに、自然の中で、自由にゆっくり過ごすワークショップなんです。子供たちはたくましく、すぐに自分たちで遊び始めます。

私たちの活動をより広く知ってもらうため、できるだけ情報を発信したいと考えています。そうすれば、もっと気軽にイベントなどへ参加してもらえないのではないかと思います。

佐藤 自然の中で遊べる所がたくさんあるという情報はありました。妊娠中だったり、子供が小さかったりしても安全に遊べるのか分かりませんでした。そういう情報があればワークショップに参加しやすいと思います。

前田 鶴岡では子育てのためにいろんなイベントやワークショップがたくさん開催されています。でも、なかなかその情報がお母さんたちに伝わっていきにくくてもつたいないなと思っています。

鶴岡市のホームページにはいろいろな子育て情報がありますが、それを知らない人も多いようです。もっと利用されるようになればいいですね。

佐藤 インターネットの子育て情報サイトで鶴岡市や三川町を調べてみて

情報がないことがあります。東京にいたときは、インターネットで調べて遊びに行くことが多かったのですが、鶴岡では情報が少ないので困っています。Uターン者の視点で言えば、例えば「子育て」をキーワードに集まって、情報を共有したり、教え合ったりできる機会が頻繁にあれば選択肢が増えていいなと思います。

3 家庭で見られないときの支援

高橋 保育園に預けた子供が病気になるたびに、職場で急な有給休暇は取りづらいという保護者の声を聞きます。保育園には病児保育という制度があり、登園してから具合が悪くなった場合にお迎えまで緊急的に預かります。しかし、次の日も具合が悪い場合に預けられる所は、市内に三井病院のカトレアキッズルーム一か所しかありません。受け入れられる人数も限られているので、三川町まで預けに行く人もいます。

神田 私は、孫たちの具合が悪くなるとSOSがあつたときは手伝いに行きます。自分が働いていたときもとても大変だった経験があるので親の気持ちがよく分かります。もっと制度が充実すると思います。

市長 子供のために休まざるを得ないことに、理解のある職場が増えてほしいですね。育児休暇の浸透を図るなど意識改革が必要です。財政的な措置だけでなく、子育てをしている世代に優しい地域になっていけば気持ちよく



家庭で保育ができないときにご利用ください

保護者の都合が悪いとき・リフレッシュしたいとき

ファミリー・サポート・センター(要事前登録)

「おねがい会員」として登録した方に、子供の預かりや送迎を担う「まかせて会員」を紹介します。預かり場所は原則まかせて会員の家庭です。

- 料金 1時間600円から
- 申込み 子ども家庭支援センター ☎25-2741

一時預かり(要事前面談)

保育園、幼稚園に入園していない子供を市内15か所の保育園で預かります。

- 対象 生後6か月～未就学児
- 利用 月12回まで(半日または1日単位)
- 料金・申込み 各保育園(市ホームページ参照)



病気・出産・冠婚葬祭などのとき

ショートステイ(宿泊)・トワイライトステイ(休日・夜間)(要申込み)

- 対象 0歳～小学6年生
- 利用 2歳以下…鶴岡乳児院
2歳以上…七窪思恩園
- 料金 市ホームページ参照
- 申込み 本所子育て推進課
☎25-2111 内線150



子供の具合が悪いとき

病児・病後児保育「カトリアキッズルーム」(要事前登録)

病中・病後で、集団・自宅での保育ができない場合、専任の看護師と保育士が保育をします。

- 対象 生後2か月～小学6年生(要医師の許可)
- 利用 1回の診断につき原則7日以内
- 料金 1日2,000円
- 申込み 三井病院☎22-3290



※詳細は市ホームページをご覧ください。

子育てができると思います。

前田 市内の歯科医院で託児の仕事もしていますが、多くのニーズがあります。どこにも預け先がなくて困っているという話を聞くことがあります。子供がほかの病気をもらおうとといけないので医者にも連れて行くことができないと。そんなときに利用できるサービスの一つにファミリー・サポート・センターがあります。子供を預けたい会員(おねがい会員)と預かる会員(まかせて会員)が相互に援助する仕組みです。私も会員になっています。まかせて会員がどういう人が不安に思う人がいるようですが、事前に子供と一緒に顔合わせをするので安心して預けることができます。お母さんが病気になるたときだけでなく、リフレッシュしたいときなども、気軽に利用してほしいです。

市長 家庭で子供を見られないときに対応する制度や施設について、情報提供も含め取り組んでいく必要がありますね。

4 保育園等の取り組み

高橋 大山保育園では、病児保育のほかにも、早朝保育や発達支援、地域活動を実施していて、子育て支援センターも設置しています。

私は市内の保育園や認定こども園で組織する鶴岡市民間立保育園協議会の会長を務めています。鶴岡ほどまと

まりのある市はないと、ほかの市の民間保育園の経営者から言われることがあります。

保育士が園の垣根を越えていろいろな研修をしたり、一緒に問題を解決したりと、連携することで地域の子育て環境の充実を図っているんです。

神田 保育園にすぐくまとまりがあるのは、私たちの研究会に参加している保育園の先生たちからも感じます。とても一所懸命で協力的ですよ。

5 祖父母世代の育児参加

佐藤 鶴岡の人は共働きで小さいうちから子供を預ける方が多い印象があります。妻が児童館に行くと、おじいちゃん・おばあちゃん世代の方が子供を連れて遊びに来ている姿をよく見掛けそうです。

前田 子ども家庭支援センターの遊びの広場には、転動してきた方など祖父母と同居していない家庭の親子が多く来ます。鶴岡の人は、共働きでおじいちゃん・おばあちゃんが子供の面倒を見てくれていることが多いようです。

高橋 私は結婚して酒田市に移り住んだのですが、子供の病院通いが頻繁で、共働きだったこともあり実家に頼るしかなかったこともありました。そして、結局、親の住む大山に戻ってきました。頼れる人がそばにいなかったら、生活をしていくことができなかつたと思います。

佐藤 妻は専業主婦ですが、私の父と祖母が鶴岡にいますので、東京にいますと

子育て支援の拠点 子ども家庭支援センターの事業を紹介

市内泉町5 - 30 (にこ♥ふる) ☎25 - 2741

! 土曜・日曜日遊びたい

➤ 同センターでは「ハッピーホリデー」事業として毎月1回、土曜・日曜日のいずれかの午前中になかよし広場を開放しています。

! いろいろな遊具がある広い場所で、 たくさんのお友達と一緒に遊びたい

➤ 朝陽武道館と出羽庄内国際村を会場に「あそびの広場」を年4回開催しています。広々とした会場には大型遊具や赤ちゃんコーナーなど、楽しいことが盛りだくさんです。

! 同じ年頃の子を育児するお母さんと 情報交換してみたい

➤ 毎月生後3か月～12か月の未就園児と保護者が集まる「あかちゃんのお部屋」「あかちゃん広場」を開催しています。

! 鶴岡市に転入してきたばかりなので、 子育てに関する情報を知りたい

➤ 年4回、就学前の子供と一緒に転入された家族を対象に、子育てや鶴岡市での暮らしに関する情報を紹介する講座を開催しています。

※内容や場所等の詳細は市広報や市ホームページでご確認ください。ほかにも各地域子育て支援センターや各児童館でも子育て中の親子向けの事業をたくさん実施しています。各遊び場のお便りや情報誌等をご覧ください。

若者から選ばれるために

きよりも子育てをする人の手が増え、妻の体調が悪いときなどは、子供を預けて休むことができるので助かっています。

市長 私自身も祖父母から育ててもらったと感じています。三世代が同居・近居していることは子育てのしやすさにつながると思います。

市長 鶴岡が子育て世代に選ばれるまちなになるためには、子育て環境の充実とともに、若者にとって魅力的な仕事があるのか、住まいをどうするのかといった課題があると思います。どうやって若者に鶴岡に残ってもらうか、また、戻ってきてもらうか、それも考えていかないと根本的な問題の解決にはつながりません。

佐藤 私の職業はシステムエンジニアです。東京の会社に所属して、電話やテレビ会議などで打合せをしながら鶴岡で働いています。故郷で暮らすことを選んだのは、専門のITを活用して自分が生まれ育った鶴岡のために何かしたいと思ったからです。

実際に何ができるかは戻らなければ分からないと考え、思い切ってUターンしてきました。

高橋 子育て世代前の息子が二人います。どちらも大学進学で鶴岡を出て、そのままそこで生活しています。

鶴岡は雪が降ったり、都会から遠か

ったりと、若い人にとっては暮らしにくいことが、いろいろあるのかもしれませんが、それを跳ねのけるような魅力があればと思います。

佐藤 高校卒業を機に鶴岡を出た人は、たまに帰省するくらいしか接点がなく、今の鶴岡がどうなっているのか、よく分からないのではないかと思います。

例えば中学生や高校生のときに、鶴岡で暮らすイメージを持てるような体験ができれば、将来戻ろうと思うきっかけになると思います。また、Uターンした人の仕事や子育ての情報を提供することが戻る際の不安軽減につながると思っています。こういったきっかけづくりができないかと考えています。

神田 ここで子育てをしてみたいと思えるような魅力をどう作り出していくかがとても大事ですよね。

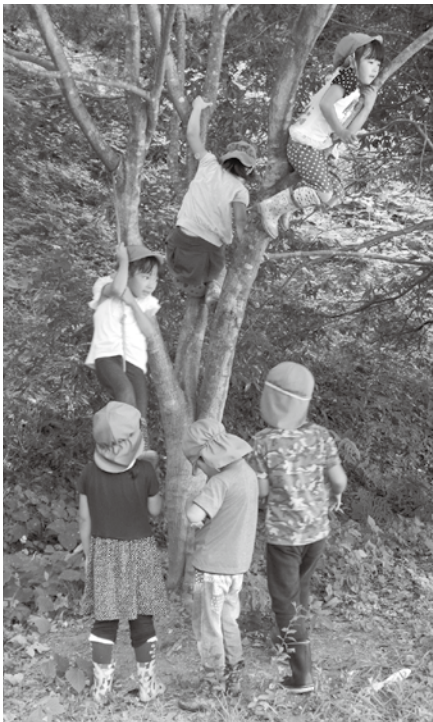
私はベビーブームの終わり頃に生まれて、小学校はコンクリートの大きな建物でしたが、最近では木の校舎が増えてきていますね。木の建物は何年たっても木の香りに満ちあふれていて、子供たちもすぐリラックスして過ごせます。

鶴岡は森林資源がとても豊富です。で、遊具、机、椅子など、日常的に触れるものにも、もっと地元の木材を使っただけです。子供たちが木に触れることによって、森を知ることにつながっていくし、森林資源の活用で新たな雇用が生まれ、地域経済の活性化にもつながるかも知れません。木を植え、

つるおか森の保育事業

問合せ 本所子育て推進課 ☎25 - 2111 内線150

東北で1番広い面積を誇る鶴岡市。その内約7割が森林です。また、海から山まで豊かな自然があります。この恵まれた環境を生かし、子供たちが小さな頃から自然に親しむ機会をたくさん持てるよう、森の保育に取り組んでいます。



自然に親しむ保育活動



小学生や親子を対象とした体験活動



ワークショップ「親子で里山遊び」の開催



自然の恵みを生かした食育の推進



「つるおか森の保育フォーラム」の開催

育て、切つて使うという循環で森が生き返っていきます。こういった取り組みもこれからは大切ではないでしょうか。

市長 私も同じように感じます。子供の頃から地域資源としての森林を体験し、よく知ることは、地域の経済が持続的に循環していくための重要な基盤の一つだと思います。

未来をつくる子どもたちのために

市長 私は対話し、そして協働していくということをも市政運営の一番大事な柱としています。この座談会がまさにそういう場だと思っています。行政が気付かないことを教えていただき、それを皆さんと一緒に解決していきたいと考えています。

高橋 今日話し合ったことを、保育園に持ち帰って、保護者の方たちをさらに支援していかなければならないと思いました。

神田 私が山形大学に勤めていたときに、鶴岡市名誉市民の北村昌美先生が名誉教授としていらっしゃいました。鶴岡の自然環境や文化を生かした森林文化都市の推進に取り組まれた方です。その北村先生が、自然との対話が大事だと言っていました。子供たちは森で育つ、また森が子供たちを育ててくれるというふうに思います。

私たちの研究会では毎年『おもしえつけの〜森』という活動記録の冊子

を作っています。「おもしえつけの〜」は鶴岡の方言で、いろんな意味を含んでいます。「おもしえつけの〜」「まだきでの〜」という言葉がたくさん聞きたくて、これからも研究会の活動を続けていきたいと思っています。

佐藤 私の友人には、鶴岡に住んでいなくても、鶴岡のために何かしたいという人がたくさんいるので、今日聞いた話を共有したいです。いろいろな形で人がつながり、支援が広がり、鶴岡が元気なまちになってほしいと思います。

前田 皆さんとお話して、これからもますます子育てを楽しんでいけるなと思います。

今日は子育て世代として、市長にいろいろな声を届けたいという思いで参加しましたが、私では伝えきれない現役のお母さんたちの思いを、直接聞いていただく機会があればうれしいです。

市長 若者が地元に住居する、子育て世代に選ばれる、そういうまちにするための生きた声を聞くことができました。しかし、すぐに実現できることばかりではありません。行政としてしっかり受け止めて、どういう手法で取り組んでいけばいいのかを考え、子育て世代はもちろん、多くの方が鶴岡に住んで幸せだと思えるような努力をしなければならぬと思います。また、これからも更に対話を重ねていきたいですね。

一同 ありがとうございます。